

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活スタイルが一変しました。感染拡大防止の観点から、様々な活動の中止を余儀なくされ、今もなお感染拡大の終息が見えない状況にあります。

(1) 公益目的事業の実施

感染拡大の懸念からほとんどの事業や会議を中止または延期した。主要な事業である「租税教室」は中学校1校でのみ行い、「税金クイズ」は、実施会場となる協賛イベント等の中止を受け、すべて未実施となった。また各種研修会は、定員の縮小やソーシャルディスタンスを保つなど、徹底した感染予防対策のうえ安心して受講できるような環境確保に努めた。

そのような状況下でも、女性部会が行う「絵はがきコンクール」と「手作り雑巾贈呈」事業は、税務署・市教育委員会、また各学校等のご協力をいただき、ほぼ例年通り実施することが出来た。

また、コロナ禍により大きな影響を受けている子供達の健やかな成長の一助となれるよう、県内の法人会と協力して子ども食堂に寄付金を贈った他、指宿市立の全小中学校・高等学校に感染症予防備品（マスク・消毒液・消毒液用ディスペンサー）を寄贈し、法人会として地域社会に貢献できるよう努めた。

(2) 組織運営と財政基盤

令和2年度は、新型コロナ感染拡大の影響により、加入推奨が難しい状況にあり、会員数は減少した。福利厚生制度の推進についても推進活動ができない状況が続いた。

また、コロナ禍により、親会・部会・支部の会員交流会が開催できず、法人会のメリットである異業種交流における情報交換の機会が減ることとなった。

このようなことから、令和2年度は、会全体として組織の強化と財政基盤の強化を図ることが難しい一年であった。